

飯豊連峰

三俎山

出発前から暗雲が立ち込めていた。前泊地に着き、他のパーティーの予定を聞くと、明日の日帰りにするとの事で、何だかテンションが下がる。宴会も早々に眠りについた。朝、ニワトリの鳴き声で起こされる。何やら肥料臭いぞと、

テントの後ろをみれば、ダチョウの飼育場で、朝から元気よく恋愛中で、春だね。

とりあえず、雨は降っていないが、どんよりと曇っている。空気は土臭く、田おこしの匂いだろうか。やはり、春だね。

集落の中を、少々迷いながら林道の取り付きに到着。集落は、そこかしこで色とりどりの花が咲いている。尾根末端、100m からの出発だ。さて、雪はどこから

出てくるのだろうか。

しばらく雪はなく、藪を覚悟していたが、260 あたりに鉄塔があり、そこまで作業道が伸びていて歩きやすい。それにしても、この状況でピッケルにビーコンは、オーバースペックだ。地元の人が見たら、何事かと思うだろうな。

鉄塔を過ぎると、道は悪くなるが、全くの藪でもなく時々人の手が入っている事を確認できる。

しかし踏み跡はほとんど見えないので、途中で少々悩みながら地図とにらめっこで進む。尾根は、アップダウンを繰り返し、時々藪も漕ぐため、なかなか進まない。そして、暑い。しかし、足元にはイワウチワがそこかしこに乱れ咲いている。ピンクの絨毯だ。

時間を見れば、今日はガラク峰すらも難しく、翌日の荒天を考えれば二王子岳は、はるか彼方。

となると、我々の気持ちは、良いテン場探しへと移っていく。そうだとしても、雪が無いと水が作れないので、もう少し進む。600 あたりから雪が出てきた。時々台地の良いテン場があるが、今日は、三俎山を目指し、周辺に泊まろうと先を急ぐ。尾根は細くなり、雪を繋いで歩いたり、根っこや岩を跨いだり、藪を漕ぎながら進む。時々二王子が遠くに見えるが、真っ白だ。

途中で無線交信すると、驚くことに他の全てのパーティーが今日は下山するとのこと。

稜線は風が強いようで、仕方がないけど、少々残念。

三俎山の直下に至ると、たつぷりと雪が出てきて、やっと雪山になってきたとホッとする。

山頂は風が強いため、記念写真をとり、早々にテン場を探す。たつぷり雪の積もった良い場所を見つけ、テントの中で宴会の開始。酒とおしゃべりは、延々と続いた。

【日程】

2019年4月6日(土)
~7日(日)

【メンバー】

星野(L)、福永
松本、飯田

【地形図】

上赤谷、二王子岳

【記】星野



夜は、思いの外天気がよく、風もなく、星が見えていた。

今日は、下山するだけなので、そう急ぐこともない。しかも、前日の下見で、飯田さんが、石川右岸に、川と並行して植林が続いているので、植林を繋げば川沿いの林道に降りられる。とのアイデアを頂いた。

前日のアップダウンの尾根を戻るよりも、はるかに早く楽だと思われる。尾根から緩やかな場所を見つけ植林に向かって降りていく。何となく手入れもされているようで、すんなりと林道に降りる事ができた。さすが、会長！林道を歩いていると、そこかしこに春を告げるお花達に出会えて嬉しい事この上ない。

フキノトウの収穫もあり、春の山はやっぱり良い。

【4/6】 8:00/石川右岸尾根取り付き ~12:45 三俎山~13:00 テン場

【4/7】 6:30 テン場~8:30 林道~9:30 駐車場

